

サトイモ科

ミミガタテンナンショウ

Arisaema limbatum Nakai et F.Maek.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… －

■ 県内分布

淡路

■ 国内分布

本州(中部以北、兵庫県)、四国、九州(大分県)

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	○
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○

詳細は非公開

■ 特記事項

県内では3ヶ所で現存が確認されている。関東地方から淡路島、淡路島から四国西端・九州に隔離分布する。

■ 保護上の留意点

生育地の保全が重要である。



写真提供: 小林禮樹

■ 種の概要

葉は2個。小葉は7枚以上あり、鳥足状につくが、葉軸はあまり発達しない。葉に先駆けて仏炎苞を展開する早咲きの性質をもつ。仏炎苞の舷部は紫色から紫褐色で、口辺部は耳状に著しく開出し、他のテンナンショウにはない性質を示す。